

セコマ北大店 オープン

新機軸のコンビニに多方面の期待



Seicomart 2018.07.24 北海道大学 セイコーマート北海道大学店 オープニングセレモニー

▲開店に先立ちテープカットが行われた

セイコーマート北海道大学店が7月24日、本学構内(北11西7)に開店した。当日はセレモニーが開催され、本学の名和豊春総長やセコマの丸谷智保社長が挨拶したほか、開店を待ち望んだ学生らが長蛇の列を作っていた。開店初日に来店した学生からは、「(店内が)広くてきれい」「(生命科が)1年の男子学生」「お酒を扱っていて驚いた」「法学部3年の男子学生」などの声が上がった。

セレモニーでは本学の名和豊春総長とセコマの丸谷智保社長が登壇した。名和総長は「台風で倒れたハルニレを看板に使用するなど北大の歴史が活かされた店の舗」と紹介しつつ、ジンパについて、「北大の精神であり、実施場所が限られていた中、しっかりと出来る場所が欲しい」と丸谷社長に相談し、実現されたこと喜びを語った。丸谷社長は「建物や設備、食材までオール北海道。学生や教職員らが自由に集える空間として利用していただきたい」と期待を寄せた。

当店舗は従来のコンビニ

8月号

＜編集・発行＞
北海道大学新聞 編集部

＜URL＞
hokudaishinbun.com
(お問い合わせ・情報提供もこちらから)

次の発行予定は10月

CONTENTS

- ・解説 北大祭火事の原因と対策 ……2面
- ・特集 北大グッズ ……3面
- ・北大人に聞く オクラホマ河野真也さん ……4面
- ・七大戦結果速報 (8月31日時点) ……5面

北大マルシェ2018

MOTTAINAIをテーマに開催

道産食品の祭典・北大マルシェが18日・19日の2日間にわたり本学農学部前で開催された。道内各地から様々な農畜産物が集まり、会場は多数の来場者でにぎわった。

北大マルシェは毎年開催される学生運営のイベントで、今年度で9回目を迎える。来場者数は年々増加しており、昨年度は過去最高の約1万1千人が来場した。今年度のテーマは「MOTTAINAI(私たちにできること)」。会場には食品ロスに関する

展示や、出店者の食品ロスに対する思いを記したポップアップが掲示された。テーマの選出理由について、北大マルシェ2018実行委員会の植田宜孝さんは、「案は色々あったが、学生だからこそできること、今だからこそできることをしたいという思いからこのテーマに決定した」と語る。

今回の北大マルシェで特に取り上げられているのがエゾシカだ。北海道に数多く生息するエゾシカだが、捕獲数に対し食肉と

また、省エネに配慮。発電を効率良く行う「固体酸化燃料電池(SOFC)」を導入したほか、ロードヒーティングに人工知能(AI)を搭載したSOFCは業務用物件として北海道では初導入。発電時の排熱は給湯に利用し、エネルギーを有効活用する。ロードヒーティングでは、AIの画像認識システムで路面状況を認識し、融雪ボイ

ラーの最適な運転を図る。AIシステムは本学の調和系工学研究室(川村秀憲教授)との共同研究。SOFCとロードヒーティングはともに約40%のCO2を削減できるという。

「情報コーナーがあるの他に良かった点は、大学としての本学を観光客の方々にも発信している」と、丸谷社長は本紙の取材に答えた。また、24時間営業し、お買い得な商品も多く取り揃えている。



▲各農家のブースが立ち並び農学部前

THE MAINSTREET  **8月28日、ウェブサイトがリニューアルしました。**

Powered by 北海道大学新聞編集部

これからも北大の「今」をお届けします。 北海道大学新聞編集部

模擬店火事 油の過加熱が原因

北大祭

消防「出店者は火の特性の理解を」

北大祭「指定催し」に準ずる扱いへ

第60回北大祭期間中の6月1日に発生した模擬店での火事で、札幌市消防局は天ぷら油の過加熱による発火が原因と判定した。

火事は1日午後2時15分ごろ、1年生が運営する揚げ物店から発生した。火は店番をしていた学生により消し止められ、テントの一部分を焼失したものの、周囲への延焼は防がれた。けが人も出ていない。

今回の火事は天ぷら油の過加熱により発生したとみられる。天ぷら油は通常、370℃から380℃に達すると発火する性質を持つ。発火前の300℃前後では煙が発生し、加熱されすぎると、重要なものは火事を発生させる物の特性を理解する事と、当日の念入りなチェックだという。油に限らず、ガソリンへの引火や投光器から可燃物への引火など祭りには危険が潜在する。中でも特に注意が必要なのはガソリンで、蒸発し空气中に滞留しやすい性質を持ち、引火が起こりやすい。消防は「出店する学生さ

っている合図となる。今回はその合図が見逃された事になる。また、テントと油の入った鍋の距離が十分でなく発火後、テントに燃え移った。

どうすれば今回のような火事を防げるか。消防によると、重要なのは火事を発生させる物の特性を理解する事と、当日の念入りなチェックだという。油に限らず、ガソリンへの引火や投光器から可燃物への引火など祭りには危険が潜在する。中でも特に注意が必要なのはガソリンで、蒸発し空气中に滞留しやすい性質を持ち、引火が起こりやすい。消防は「出店する学生さ

今回の火事を受け、北消防署は北大祭を「指定催し」(※)に準ずる扱いとする方針だ。火災予防業務計画の策定や防火担当者の設置が新たに求められる見通し。防火担当者の数などは今後、北大祭事務局と協議する。今まで以上に安全対策を進める考えだ。

※指定催し：火災予防条例で定められる大規模(1日当た10万人以上の入出などの条件)な催しで、指定されると防火担当者の設置や火災予防業務計画の策定が主催者に求められる。札幌市では「北海道神宮例祭(札幌まつり)」や「すすきの祭り」などが対象に想定されている。



▼辺りは煙が充満し一時騒然となった

▲初期消火の様子



どうすれば今回のような火事を防げるか。消防によると、重要なのは火事を発生させる物の特性を理解する事と、当日の念入りなチェックだという。油に限らず、ガソリンへの引火や投光器から可燃物への引火など祭りには危険が潜在する。中でも特に注意が必要なのはガソリンで、蒸発し空气中に滞留しやすい性質を持ち、引火が起こりやすい。消防は「出店する学生さ



▲ポプラ並木を解説する HCVP スタッフとツアー参加者

参加者は年々増加傾向にあり、昨年は約1万8000人の参加があった。本学入試課の武田さんは「より多くの高校生に北大のキャンパスのすばらしさを感じてほしい」と語った。

今年のオープンキャンパスでは、例年通り、高校生以外も参加可能な自由参加プログラムと個別プログラムの2種類が用意された。保護者向けの進路相談会が開かれ、多数の高校生や保護者らを迎え入れた。自由参加プログラムの一つである北大キャンパスプロジェクトプロジェクト(HCVP)の理学部・農学部・文系向けのツアーでは、キャンパスの南側をめぐった。農学部棟や理学部棟、文系共同講義棟を中心に、クラーク像やポプラ並木など有名なスポットも抑えつつ、参加した高校生らに本学の魅力を発信した。

東京から訪れた農学部志望の高校生はHCVPのツアーに参加し、「普段見られない場所を回る事ができた」と喜びを口にした。また、ツアー終了後には先導したHCVPスタッフに受験についてのアドバイスを求める姿も見られた。神奈川県から訪れた高校生の保護者は夏の北海道の涼しさや本学の優れた教授陣の存在に触れ、「ぜひ北大に入ってほしい」と期待を口にしていた。

オープンキャンパス開催

北大の魅力を知りたい、知らせたい

北大生協書籍部売り上げランキング (7月)

※クラーク店と北部店の合計

一般書	書名	著者名	出版社
1	TOEIC L&R TEST出る単 特急金のフレーズ	TEX 加藤	朝日新聞出版
2	漫画君たちはどう生きるか	吉野源三郎	マガジハウス
3	ツーリングマップル東北 2018		昭文社
4	どもる体	伊藤亜紗	医学書院
5	ツーリングマップル北海道 2018		昭文社
6	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 1	Educational Testing	国際ビジネスコミュニケーション協会
7	完全最強SPI&テストセンター1700題 2020最新版	オフィス海	ナツメ社
8	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing	国際ビジネスコミュニケーション協会
9	北海道樹木園鑑	佐藤孝夫	亜細亜社
10	面従腹背	前川喜平	毎日新聞出版

文庫	書名	著者名	出版社
1	青の数学	王城夕紀	新潮社
2	羊と鋼の森	宮下奈都	文藝春秋
3	ユートピア	湊かなえ	集英社
4	君の隣をたべたい	住野よる	双葉社
5	四畳半神話大系	森見登美彦	角川書店

新書	書名	著者名	出版社
1	現代社会はどこに向かうか	見田宗介	岩波書店
2	理科系の作文技術	木下是雄	中央公論新社
3	世界一美味しい煮卵の作り方	はらべこグリスリー	光文社
4	世界史序説	岡本隆司	筑摩書房
5	帝国大学	天野郁夫	中央公論新社



季節の一枚

大野池を眺めていると、お昼寝する家族を見つけた。「寒いから離れないで!この前まであんなに暑かったのに…」そんなことを話しているのだろうか?北海道はもう秋の匂いがする。(photo by 北大写真部・熊坂友紀子)

今回の特集では、ボールペンから日本酒に至るまで多岐にわたる北大グッズの中から特に人気の品々を紹介する。

本学では定番商品から知るひとぞ知る限定品まで、100種類を超えるグッズが販売されている。近年ではグッズ販売が大学の広報活動や産学連携の一環としても位置付けられ、魅力的な商品開発に余念がない。大学グッズは主に学内外からの要望を受けて企画され、生協や民間事業者が製

北海道大学ノート 新入生から圧倒的な人気

文具で圧倒的な人気を誇るのが北海道大学ノートだ。表紙に本学の紋章と「北海道大学」の文字が入っているが、中身はごく一般的なノートと変わらない。グッズ販売に携わる本学協の岸本敬一専務理事によると、商品企画のきっかけは新入生のノート需要だったという。新入生の利用が多い北部購買で毎年数千冊

北大饅頭 手土産需要が安定的な人気の源

北大饅頭は、誕生から10年以上を経てもなお安定的な人気を誇る定番商品だ。北海道へのこだわりをコンセプトとし、道産の小豆・小麦・かぼちゃなどを使用しているほか、製造も道内企業が行う。

誕生の背景にあったのは教職員から寄せられた手土産への要望。北大ならではの土産物があれば出張など

特集 北大グッズ



札幌農学校 シンプルな味わいで人気を博す

北海道土産としての知名度も高い「北海道ミルククッキー札幌農学校」。本学の前身・札幌農学校を商品名に取り入れ、シンプルながら他にない味わいで人気を博している。誕生の経緯に「札幌農学校」の売り上やこだわりのついて、「札幌農学校」を製造・販売している洋菓子メーカー「きのとや」に話を聞いた。

誕生は2005年。当時きのとやはお土産として販売できる、北海道らしいお菓子を開発していた。また、本学水産学部卒業生である同社の長沼昭夫会長(当時社長)は本学に関わりのあるお菓子をつくりたいと考えており、「札幌農学校」の開発が進んだ。

クッキーは道産の小麦やバター、砂糖をふんだんに使用。ミルクの風味が広がる飽きのこない素朴な味わいに顧客からは「シンプルでおいしい」、「ありそうでなかった」等の声が上がっているという。また、東京や大阪で売っているかと問い合わせが入るなどリピーターも多い。パッケージは地味ながら美味しさが徐々に評判となり、現在では年間約10億円(2017年)もの売り上げを誇っている。

本紙の取材に会長は、「北海道大学が続く限り、これからもずっと販売しますのご愛顧のほどよろしくお願ひします」と息の長い商品として本学と進んでいく



▲札幌農学校 premium (出典:きのとやHP)

引き続き 新メンバー募集中 秋新歓も計画中! 乞うご期待

- ✓人脈を広げたい方
- ✓企画に興味がある方
- ✓デザインに興味がある方
- ✓書くことが好きな方

Everyone is Welcome!

広告募集中

詳しくはお問い合わせください

お問い合わせは、WEBサイトの「お問い合わせフォーム」または hokudaishinbun@gmail.com まで

インタビュー「北大人に聞く②」 北海道、そして人との 出会いが人生を変えた

オクラホマ・河野真也さん

「学生には、社会人になつたらできないことを経験してほしい」。そう語るのは、北海道を中心に活躍しているお笑いコンビ・オクラホマの河野真也さんだ。河野さんは本学に2年生まで在籍するも中退し、芸能界への道を進んだ。今回はそんな河野さんに自身の経験と学生へのメッセージを聞いた。

「一度きりの思い出」 のほが…

河野さんは大阪出身。本学を志願するきっかけは旅番組で中標津町の開陽台からの景色を見て、「北海道に住みたい」と思ったことだった。弁護士を夢見ていたため法学部を志望。本学に特化した対策のもと他大では一切受けず、前期試験のみの一発勝負で合格を決



▲学生への短くも重みのあるメッセージ

河野真也さん プロフィール
1980年3月9日生まれ、大阪府出身。お笑いコンビ・オクラホマのツッコミ担当。HTB・北海道テレビ「イチオシ!」「おにぎりあたためますか」をはじめ、バラエティーから情報番組まで幅広く、テレビ・ラジオ等で北海道内を中心に活躍。お笑いライブのほか、映画・CM出演や演劇も。近年は子育てや男女共同参画に関するセミナーなどでも講演。

を和らげるためにも4年間目一杯休学しそのまま退学。

アルバイトの傍ら、札幌市内で十畳ほどの広さのスペースを借り、月1回ライブを開催するなどして活動を開始した。当初は全くウケを取れなかったが、「こんなふううまくいかないことがあるのだろうか」と逆に諦めがつかず、中途半端なままではやめられないとの思いで活動を続けることに。以前出演した番組のディレクターに頼み込み、HTB制作の番組「水曜どうでしょう」で注目を集めていた鈴井貴之さんの事務所・クリエイティブオフィスに入ってもすぐには売れず、アルバイトをして食いつなぐ日々。その後、受け持つ仕事は徐々に増え、20代後半にはタレント業で生計を立てていけるようになった。仕事では見る人のことを考え、特に情報番組では丁寧

限りある学生生活を大切に

学生に向けては、「とりあえず大学はやめないでほしい」と自身の経験を踏まえてエールを送る。また、「休みの長さは学生の強みだと思ふ。限りある長期の休みを有効に使えるとよいのでは」と、学生時代でなければできない経験を積んでほしいと力説。「北海道は飽きない。道民でも知らない良さが北海道にはたくさんあるので、学生の間に満喫してほしい」と述べ、道内巡りをおすすめする。藤尾さんとの出会いや、仕事をきつかけとした道内各地での人々の交流を振り返り、人間関係や出会いの重要性についても熱く語った。



▲趣味のトランペットとともに

教員紹介②

英語教育とトランペットに熱意を燃やす

河合剛教授（後編）

北大教員へのインタビュー連載記事「教員紹介」第2回目は前回に引き続き、本学外国語教育センター・河合剛教授について紹介する。

「Glexa」と 白黒パピーの誕生

河合教授と云えば英語学習システム「Glexa」だ。教授が作成したオンラインシステムの一つで、本学の1年生の教育にも用いられている。「Glexa」のGは河合「剛」から、leexはlearning（学習体験）から、aは河合教授の研究仲間の名前から取って名付けられた。「当時は教師が教えない内容をオンライン化する道具として開発したのだが、裾野を広げるために教材として開発し直した」という。

英語学習で大切なこと

教授は授業では英語しか使わない。休講の情報ですら英語で出している。「大事だからこそ英語で言う。いつでも松葉杖に補助輪で「ダメ」と熱弁する教授。「講義では高い英語力は要



▲「Glexa」の
白黒パピー

いう。それは北大生の「TOEFL ITP」スコアだ。2006年から2017年にかけて平均点が約24点も上昇している。この要因について、「明確なことは分らないが、英語授業の改善や生協の取り組み、総合入試制度の影響が考えられる」と分析する。

趣味は多彩 現在はトランペットに苦戦中

教授は多彩な趣味を持っていることでも知られる。茶道・華道・アマチュア無線に加え現在ではトランペットにも挑戦している。トランペットを始めたのは53歳の誕生日。最初はほとんど音すら出せなかったという。「簡単そうだからと始めたのが大間違い。正確に音を出すのに大変苦労した。3年半練習してやっと初めての曲を吹かせてもらえる」と苦労を語る。トランペットの生徒として苦戦したその経験は、自身の教育活動にも役立っているそうだ。

学生へ「夢中になれ」

ここまで、前後編にわたって河合教授について紹介してきた。最後に、教授からのメッセージを紹介する。「何か夢中になれるものを見つけてほしい。教授は北大生にこう呼びかける。「何かに没頭する事で人は幸せを感じ、成長につながる」と熱弁。今の学生へエールを送っている。

第3回 フィンランドデー 開催

教職員や学生も多数参加 フィンランドの魅力伝える

フィンランドの文化に触れるイベント・フィンランドデーが6月30日、本学農学部で開催された。会場ではフィンランドに関するパネル展示や写真が並んだほか、本学教授らによる講演などが行われた。入口では北大カフェプロジェクトによるドリンクの提供も行われ、イベントは大いに盛り

▲会場には多くの人が集まった



交流の場として開始

フィンランドデーが開催されるのは今年で3回目となる。同イベントを主催するのは本学の欧州ヘルシンキオフィス。フィンランドのヘルシンキ市に2010年に設立されて以来、ヨーロッパ唯一の本学オフィスとして研究・教育活動を行ってきた。同イベントを開催したきっかけについて、プログラム考案に携わった本学保健科学研究院の横澤宏一教授は、「北大にはフィンランドが好き

フィンランドの魅力伝える講演

会場ではフィンランドに関する講演が行われた。本学教授による「ムーミン谷の仲間たち」解説を始め、フィンランド留学記、フィンランドの政策やその背

上がりを見せた。景、フィンランドの古代信仰、日本におけるフィンランドのイメージなど、様々な側面からフィンランドの特色や魅力が紹介された。イベントで講演を行ったフィンランドからの留学生ミア・ティッコネンさんは「日本国内ではフィンランドの知識やイメージがあまり定着していないと感じている。フィンランドを浸透させる一端となればと思います。講演を決めた」と語る。イベントは2部構成。第2部の開幕ではフィンランドの伝統楽器・カンテレ奏者のあらひろこ氏と北海道フィンランド協会演奏サークル・サルミアッキによる

演奏が会場を魅了した。

北大カフェプロも出店

今回のフィンランドデーには北大カフェプロジェクトも参加した。同サークルは学内イベントなどで無料のドリンクを提供し、その活動資金は募金のみによって賄われている。フィンランドはコーヒーの消費量が世界第2位で、1日1人当たり3杯ものコーヒーを消費する。同サークル副代表・今泉快啓さんによると、「フィンランドの寒い気候が影響しているかも知れない。フィンランドではコーヒーブレイクの時間などがコミュニケーション手段として定着している」という。会場では同サークルによるパネル展示も行われ、フィンランドとコーヒーの関係をクイズ形式で学ぶことができるようになった。



▲あらひろこ氏・サルミアッキによる演奏

大学名	北海道大学		東北大学		東京大学		名古屋大学		京都大学		大阪大学		九州大学		
	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
アイスホッケー	1位	10	5位	3	6位	2	3位	6	4位	4	2位	8	7位	1	
スキー	不参加		1位	10	4位	4	5位	3	6位	2	2位	8	3位	6	
航空	3位	6	1位	9	1位	9	4位	4	5位	3	6位	2	7位	1	
馬術	1位	8	4位	3	5位	2	2位	6	3位	4	該当団体なし		6位	1	
硬式テニス	男子	5位	3	3位	6	2位	8	4位	4	1位	10	6位	2	7位	1
	女子	5位	3	4位	4	3位	6	6位	2	2位	8	1位	10	7位	1
少林寺拳法	7位	1	5位	3	1位	10	6位	2	3位	6	2位	8	4位	4	
バスケットボール	男子	1位	10	3位	6	7位	1	5位	3	4位	4	2位	8	6位	2
	女子	3位	6	1位	10	6位	2	7位	1	2位	8	5位	3	4位	4
柔道	6位	1.5	2位	8	6位	1.5	3位	5	1位	10	3位	5	5位	3	
ヨット	天候不良のため競技中止(名古屋大学以外の6大学に1点*)														
空手	男子	1位	10	6位	2	2位	8	5位	3	7位	1	4位	4	3位	6
	女子	3位	6	2位	8	1位	10	7位	1	5位	3	4位	4	6位	2
剣道	男子	3位	6	1位	10	5位	3	4位	4	2位	8	7位	1	6位	2
	女子	5位	3	3位	6	6位	2	4位	4	2位	8	7位	1	1位	10
女子ラクロス	6位	1.5	2位	8	3位	6	5位	3	6位	1.5	1位	10	4位	4	
競泳	男子	1位	10	6位	2	2位	8	7位	1	5位	3	4位	4	3位	6
	女子	1位	10	7位	1	4位	4	3位	6	5位	3	2位	8	6位	2
陸上	男子	6位	2	3位	6	4位	4	5位	3	2位	8	1位	10	7位	1
	女子	5位	3	1位	10	2位	8	7位	1	4位	4	3位	6	6位	2
準硬式野球	3位	6	2位	8	5位	3	7位	1	6位	2	1位	10	4位	4	
ハンドボール	3位	6	2位	8	1位	10	5位	3	7位	1	6位	2	4位	4	
硬式野球	1位	10	3位	6	4位	4	5位	3	2位	8	7位	1	6位	2	
体操	5位	3	7位	1	1位	10	4位	4	3位	6	2位	8	6位	2	
バドミントン	男子	3位	6	1位	10	4位	4	5位	3	7位	1	6位	2	2位	8
	女子	1位	10	4位	4	6位	2	3位	6	7位	1	5位	3	2位	8
バレーボール	男子	7位	1	1位	10	6位	2	3位	6	2位	8	4位	4	5位	3
	女子	5位	3	6位	2	3位	6	2位	8	7位	1	4位	4	1位	10
フェンシング	該当団体なし		1位	6	3位	3	該当団体なし		2位	4	4位	2	5位	1	
相撲	承認団体		2位	4	4位	2	5位	1	3位	3	1位	6	承認団体		
弓道	男子	2位	8	1位	10	7位	1	3位	6	5位	3	4位	4	6位	2
	女子	3位	6	4位	4	5位	3	1位	10	2位	8	7位	1	6位	2
水球	該当団体なし		承認団体		2位	4	3位	3	4位	2	5位	1	1位	6	
ゴルフ	7位	1	6位	2	5位	3	4位	4	1位	10	3位	6	2位	8	
総合得点	161		191		156.5		120		157.5		157		120		
総合順位	2		1		5		6		3		4		6		

第1位 東北大学

第2位 北海道大学

第3位 京都大学

七大戦結果速報

※8月31日時点

お知らせ

「北大新聞 10月号」で
七大戦ダイジェストを掲載します。